

聞き、描く。共に、描く。 高校生が描いたヒロシマ

原爆の絵画展

Atomic Bomb Drawings

広島市立基町高等学校普通科創造表現コースでは15年前より毎年、原爆被害の実相を後世に伝えていくため被爆体験証言者とともに「原爆の絵」の制作に取り組んでおり、これまでに182点の絵を描いています。

今回は、今年7月に完成した11点を含む約60点を展示します。

この「原爆の絵」は、被爆者の方が証言活動を行う際、言葉ではなかなか伝わりにくい場面や状況を少しでも理解しやすいように絵画として表現するものであり、完成した「原爆の絵」は平和記念資料館に寄贈され、それぞれの証言者が修学旅行生などに被爆体験を話す際に、当時の状況をより分かりやすく伝えるために使われます。何度ももわたる打合せを重ねながら描かれる絵は、当時の惨状を克明に描き出すものでありながら証言者の記憶や思いに高校生が寄り添いつつ描いた、双方の「気持ち」も共に描き出しています。記憶の継承の一つの形として、多くの方にご覧いただければ幸いです。

(「次世代と描く原爆の絵」プロジェクト)

2022年 8月7日(日)～19日(金) 9:00～17:00 (入場は16:00まで)

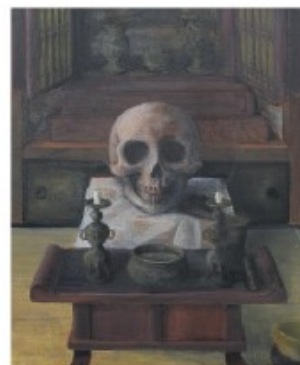
広島国際会議場 地下2階 ダリア②

入場無料

■ 8月11日(木・祝) 午後1時より1時間程度、原爆の絵を制作した生徒によるギャラリートーク(作品解説)を行います。

■ 同時開催「原爆ポスター及びビデオ上映」 広島国際会議場地下2階 小会議室ラン①

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となった場合は、開催を中止する場合があります。



問い合わせ先

主催・展示に関して：広島国際会議場 広島市中区中島町1-5(広島平和記念公園内) Tel(082)242-7777 Fax(082)242-8010

原爆の絵に関して：広島市立基町高等学校美術科 広島市中区西白島町25-1 Tel(082)221-1510 (平日午前9時～午後4時) Fax(082)221-5299

ポスターデザイン：広島市立基町高等学校 普通科 創造表現コース 3年 川島 芽衣